

梅毒についての啓発 (令和5年度報告)

令和4年10月誕生！
大阪市保健所公式キャラクター



梅毒予防啓発キャラクター
びっぴい

課題に向けた啓発の具体的取り組み

	課題	令和5年度 具体的取り組み
1	10代後半～20代の女性割合が高い 10～20代男性が微増	○ 青少年対象に向けた啓発 ・ 性感染症に関する健康教育 ・ 教職員に向けHIV・性感染症に関する研修 ・ 性感染症予防啓発冊子配布 ・ 大学と連携した啓発 ・ 他機関と連携した啓発～大学生、専門学生対象に「HIV検査普及週間」の啓発～ ○ 広域的な普及啓発 ・ WEBを通じた発信 ・ 梅毒啓発ポスターによる啓発 ・ リーフレットによる啓発 ・ 梅毒予防啓発ポケットティッシュによる啓発(各区成人の日記念のつどいで配布) ・ 大阪府及び大阪府内保健所設置市との連携
2	先天梅毒の発生	妊産婦への啓発
3	女性の性風俗産業従事者の割合増加 (特に若年女性)	○ 青少年対象に向けた啓発(課題1対策同様) ○ 性風俗産業従事者に向けた啓発
4	同性間性的接触における感染	MSM(Men Who Have Sex with Men:男性間で性的接触を行う者)に向けた啓発
5	無関心層への意識啓発	広域的な普及啓発 ・ WEBを通じた発信 ・ リーフレットによる啓発 ・ 梅毒予防啓発ポケットティッシュによる啓発 ほか

青少年対象に向けた啓発 ①

性感染症に関する健康教育

小中高生や専門学校生等への健康教育は学校からの要請を受けて区保健福祉センターが中心に行っている。

表1 HIV・性感染症に関する健康教育 実施人数（実施回数）



対象	（参考） 平成30年度	（参考） 令和3年度	令和4年度	令和5年度
中学生 （一部教職員・保護者を含む）	3,114(21)	635(5)	759(7)	410(3)
高校生（一部教職員を含む）	481(2)	262(2)	140(1)	757(3)
大学生	577(4)	739(4)	1,248(4)	1,386(4)
専門学校生	164(4)	64(1)	99(3)	106(3)
小学校PTA・保護者等	77(1)	50(1)	0(0)	0(0)
教職員	306(1)	512(1)	462(1)	655(1)
合計	4,749(33)	2,262(14)	2,708(16)	3,314(14)

青少年対象に向けた啓発 ②

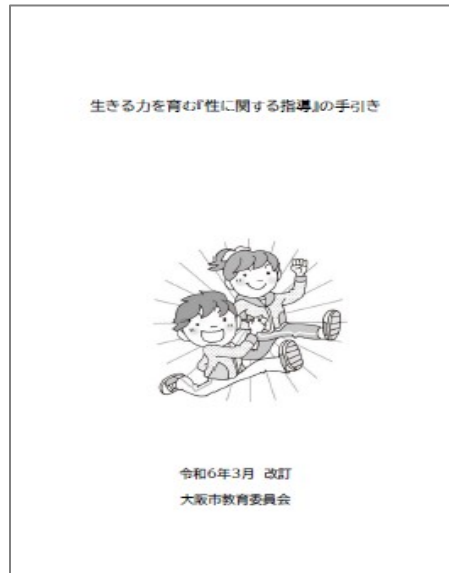
教職員向けH I V・性感染症に関する研修

- ・教育委員会事務局との連携により小・中学校の教職員に対して実施している。
- ・夏休みを含む時期に各学校で受講できるよう動画視聴型研修を実施
教育委員会事務局より各校1名以上の受講を呼びかけたため、9割以上の小・中学校が受講

令和5年実績：小学校 496名・中学校 159名・合計655名

受講者内訳 管理職10.4%、養護教諭48.2%、保健主事9.2%、教諭32.1%

- ・研修受講後、受講内容を生徒の教育に活かすと答えた教職員の割合は、98.1%であった。



教育委員会発行

令和3年度より「生きる力を育む『性に関する指導』の手引き」に小中学校教職員の校内研修として位置づけ

青少年対象に向けた啓発 ③

性感染症予防啓発冊子配布

文部科学省の学習指導要領に基づき、中学校3年生において「エイズ及び性感染症について取り扱うものとする」とされている。

- ・エイズ・性感染症予防啓発冊子「エイズのはなし」を作成し、市立中学校3年生を対象に配付冊子をデータ化したデジタルブックを本市ホームページに掲載している。
- ・教員向けに「エイズのはなし」指導の手引き及び資料編を作成し、職員向けのポータルサイトに掲載し活用を促している。

QRコードを掲載して本市ホームページの感染予防のページや相談窓口について案内



<中学生版>



<青少年版>
高校生以上向け

内容

HIV・性感染症の基礎知識、発生動向、相談窓口など



エイズのはなし ～性感染症を知ろう～



令和5年度版 指導の手引き 資料編

副題

～性感染症を知ろう～

<指導の手引き>
大阪市立学校向けポータルサイト
(SKIP書庫)に掲載



青少年対象に向けた啓発 ④

大学と連携した啓発～学園祭における啓発活動～

■大阪経済大学（大樟祭）



模擬店ブース出展



梅毒予防啓発ステージ



■大阪公立大学（銀杏祭）



■森ノ宮医療大学 （森ノ港祭）



計275名の大学生に
性感染症に関する
アンケートを実施

計504個の
啓発物品を配付

青少年対象に向けた啓発 ⑤

■梅毒予防啓発ポケットティッシュ（令和4年度～）

- 各区成人の日記念のつどい等にて配布
- QRコードを掲載し、本市ホームページの特設ページ（若年層向け啓発用）への閲覧を促す。



令和4年度作製



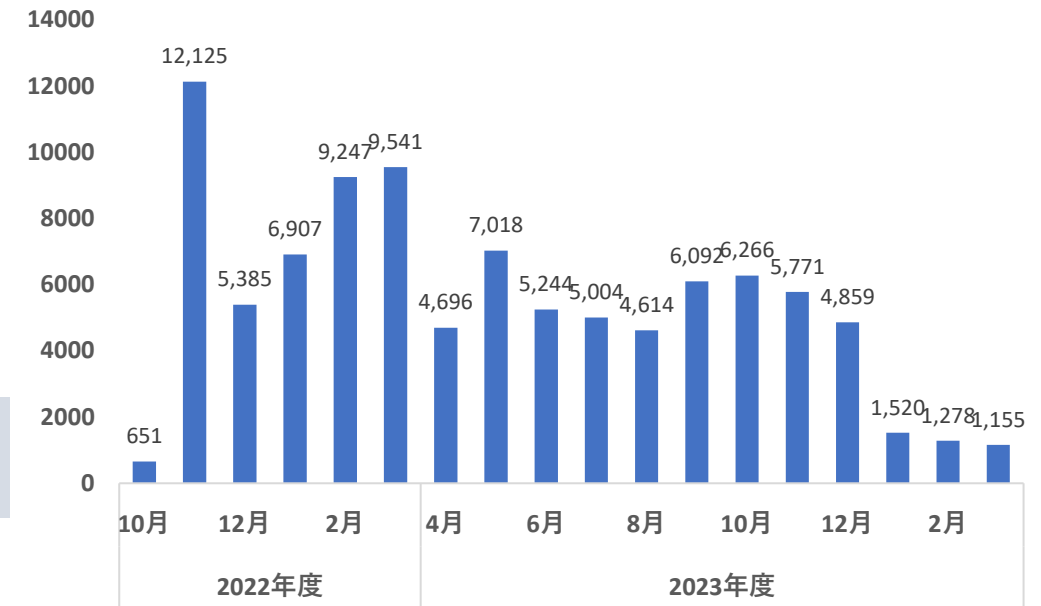
令和5年度作製

リンク



特設ページ
「今、梅毒が流行っています！」

梅毒特設ページ 閲覧数





令和6年度 青少年対象に向けた啓発

他機関と連携した啓発（令和6年度）

～大学生・専門学生向けに「HIV検査普及週間」に検査動画の配信～

●大阪府専修学校各種学校連合会を通じて各教育機関へ検査動画の配信

連携学校**166**校

●大学コンソーシアム大阪を通じて各教育機関へ検査動画の配信

連携学校**42**校



学校内での動画視聴や各生徒向けにメール送信にて配信

広域的な普及啓発 ①

WEBを通じた発信

HIV/エイズ・性感染症ガイド（大阪市ホームページ）

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000549405.html>



HIV/エイズ・性感染症ガイド

ページ番号：549405 2022年12月16日

HIVやエイズ、その他性感染症に関する様々な情報をまとめた総合サイトです
Osaka City HIV/STI Information site

い(ゆー)ちゃん びっぴい

メニュー

- HIV/エイズ
- 梅毒
- その他性感染症
(クラミジア・淋菌など)
- 検査情報
- 相談窓口
- 感染予防方法
～コンドームをしよう～
- 関連リンク
- For foreigners
English 中文 Tiếng Việt and others
- パンフレット

スマートフォンでも
閲覧・検索しやすくしています

検査スケジュール

検査スケジュール早見表			
	午前	午後	夜間
月	北区 9時30分～11時00分	淀川区 14時00分～15時30分	—
火	中央区 9時30分～11時00分 淀川区 9時30分～11時00分	—	CC 18時00分～19時30分 (先着50名)
水	中央区 9時30分～11時00分	北区 14時00分～15時30分	—
木	中央区 9時30分～11時00分	—	CC即日検査 (要予約) 18時00分～19時30分
金	北区 9時30分～11時00分	中央区即日検査 (第1金曜のみ) 14時00分～15時00分	北区 (第5金曜のみ) 18時00分～19時30分 (先着100名)
土	—	CC即日検査 (要予約) 14時00分～15時30分	—
日	—	CC即日検査 (要予約) 14時00分～15時30分	—

北区：北区保健福祉センター

中央区：中央区保健福祉センター

淀川区：淀川区保健福祉センター

CC：大阪検査相談・啓発・支援センター「chatCAST（チャットキャスト）」

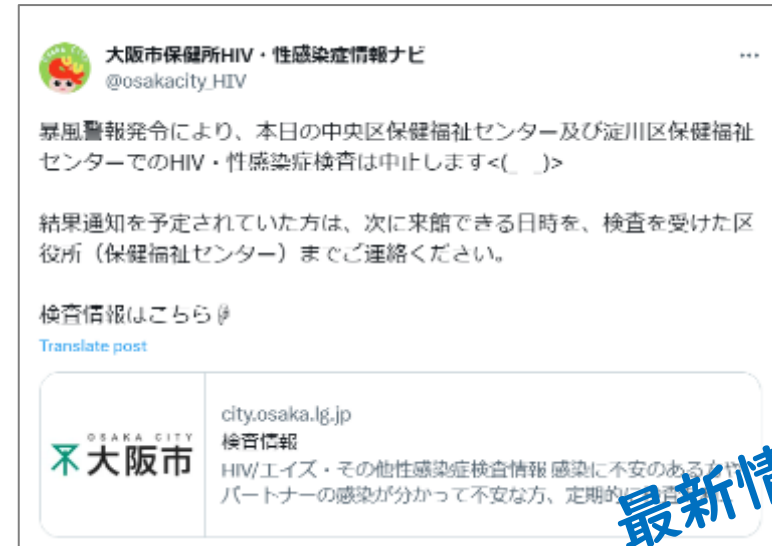
- ◆ HIV/エイズ・性感染症の情報
 - ◆ 検査情報・相談窓口・関連リンク
 - ◆ For foreigners
 - ◆ パンフレット
- 等

広域的な普及啓発 ②

WEBを通じた発信



× (旧Twitter) 専用アカウント
大阪市保健所HIV・性感染症情報ナビ
https://twitter.com/osakacity_HIV



最新情報を発信



Instagram 専用アカウント **NEW**

osakacity_hiv_sti

大阪市保健所感染症対策課 (HIV・性感染症専用)

https://www.instagram.com/osakacity_hiv_sti/



動画・リーフレット
などを掲載

広域的な普及啓発 ③

梅毒啓発ポスターによる啓発

- 地下鉄掲示板22駅に掲示
- FM802イベント、エイズ啓発イベントでの掲示



- セレッソ大阪試合会場における啓発



令和5年度
梅毒啓発ポスター



地下鉄掲示板22駅に掲示



大阪エイズ啓発フェスティバル



FM802 FUNKY MARKET





セレッソ大阪の 試合会場における啓発

広域的な普及啓発

④

リーフレットによる啓発



毎年3月に梅毒啓発リーフレットを作成し、
各区保健福祉センター及び医療機関へ配架・掲示依頼

令和5年度



平成30年度

令和元年度

令和2年度

令和3年度

令和4年度



大阪府及び大阪府内保健所設置市との連携

- ・令和4年度 エイズ予防週間実行委員会（大阪府・大阪府下保健所設置市による協働事業）で、啓発動画を作製した。
- ・Instagram、大学におけるデジタルサイネージへ掲載
教職員向け研修にてデータ配布
他自治体においてもホームページやSNSに掲載



梅毒編（約4分）



HIV・梅毒等の検査紹介 編
（約3分半 / 30秒）



●プロモーション事業での啓発

20～30歳代女性対象イベント

250名対象

・ R6 年 10 月 5 日

「まちなかウォークラリー
in梅田～アスマイルがつなぐ健康への一歩～」にて
一般市民対象
バイバイ梅毒啓発カード配布

500名対象

女性向けイベント

●健康イベント

骨粗鬆症健診、健康チェック（血管年齢測定、ベジチェック）、パーソナルカラー診断
R6年10月21日

「骨活マルシェ@イオンモール鶴見緑地」
女性をはじめ一般市民対象
バイバイ梅毒啓発カード配布

250名対象



妊産婦への啓発

1. 母子健康手帳発行時に配布している冊子「わくわく～赤ちゃんとの出会い～」に「妊娠中に注意すべき代表的な感染症」として梅毒等の性感染症について掲載。パートナーも血液検査を受けるよう注意喚起している。
2. ホームページにて「妊娠を希望する方や妊娠中に気をつけたい感染症について」として、梅毒等の性感染症について掲載している。
3. 感染症対策に関する保健師研修（応用編）にて、「妊娠を希望する方や妊娠中に気をつけたい感染症について」妊婦・母子ケースの相談や指導に役立つ情報を研修内容に取り入れた



性風俗産業従事者に向けた啓発

性風俗産業の従事者がより特化した情報を得られるよう関係団体と連携し、本市ホームページにて、関連団体とリンクさせている。



SWASHホームページ <https://swashweb.net/>

1999 年設立以降、当事者である、現・元セックスワーカーとサポーターが集まり、『セックスワーカーが安全で健康に働くこと』ができるよう活動している団体。



記事協力

セックスワーカーが作り出すメディア「赤い傘」
<https://akaikasa.net/>



MSM（男性間で性的接触を行う者）に向けた啓発

MASH大阪と協働した啓発

MSM向け検査フライヤー



ゲイ向けアプリの
ポップアップ広告にも
掲載

Men
And
Sexual
Health
Osaka
Since 1998

MASH大阪は、大阪地区のゲイやバイセクシュアル男性（MSM=Men who have sex with men）に対し、HIV/STI感染の予防を促し、セクシュアル・ヘルス（性的健康）を増進させることを目的として活動している団体。

MASH大阪ホームページ
コミュニティセンターdista

<http://www.mash-osaka.com/>
<https://www.dista.osaka/>

ゲイ向け商業施設（ゲイバー、ハッテン場等）約150店舗
及び全国の性感染症対策を行うNPO・NGO・保健所等へ配布



MSM向け季刊誌

2. 検査・相談体制について

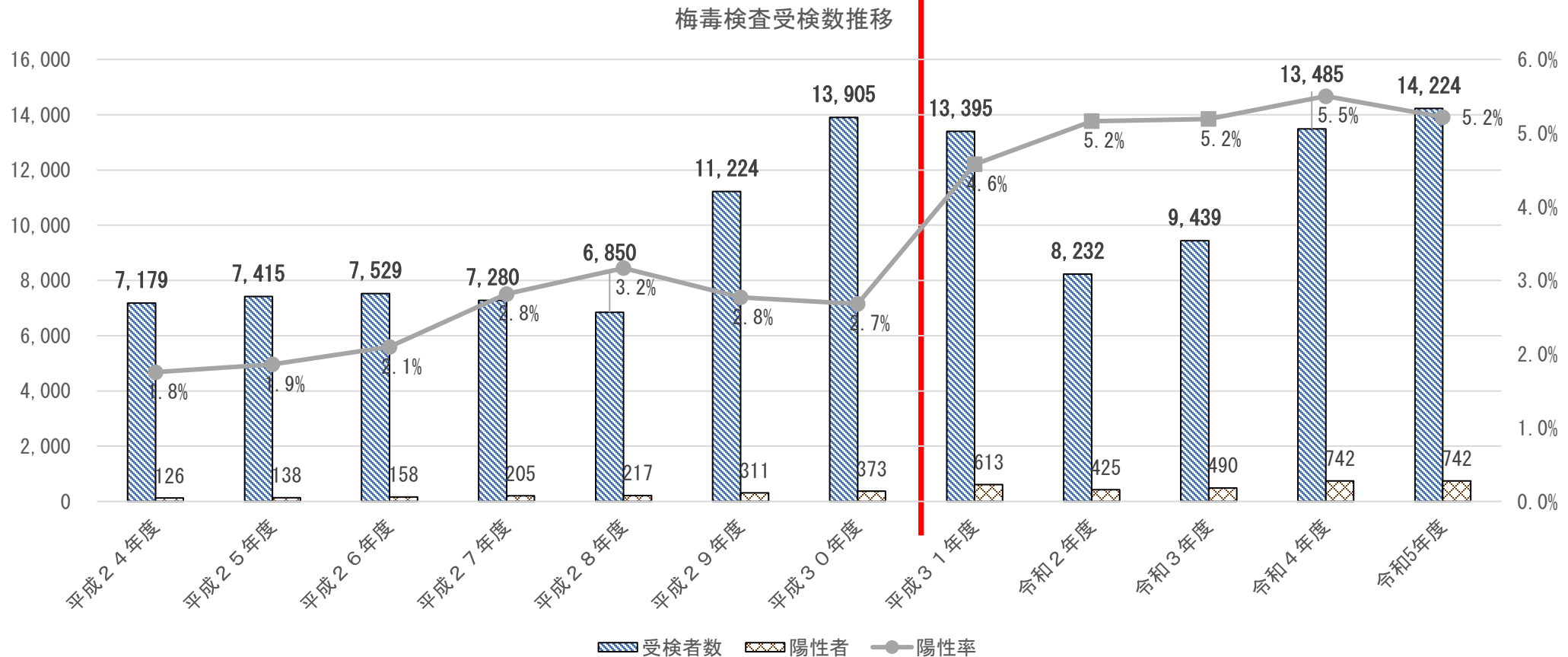
大阪市におけるH I V・性感染症検査体制

	検査場所・所在地・電話	最寄駅	検査項目	月	火	水	木	金	土	日
区役所 (保健福祉センター)	北区保健福祉センター	JR環状線 天満駅 または Osaka Metro堺筋線 扇町駅 2-B出口	H I V 梅毒 クラミジア (通常検査)	9:30 ~11:00	—	14:00 ~15:30	—	9:30 ~11:00 原則第5 18:00 ~19:30	—	—
	中央区保健福祉センター	Osaka Metro 堺筋線・中央線 堺筋本町3番出口	※中央区 第1金曜は H I Vのみ (即日検査)	—	9:30 ~11:00	9:30 ~11:00	9:30 ~11:00	第1のみ 14:00 ~15:00	—	—
	淀川区保健福祉センター	阪急電鉄 十三駅 東口		14:00 ~15:30	9:30 ~11:00	—	—	—	—	—
委託検査場	大阪検査相談・啓発・ 支援センター 「chot CAST」	Osaka Metro御堂筋線 心斎橋駅 5・6番出口 または Osaka Metro堺筋線 長堀橋駅 7番出口	H I V 梅毒 B型肝炎 (通常検査)	—	18:00 ~19:50 先着 50名	—	—	—	—	—
			H I V 梅毒 B型肝炎 (即日検査)	—	—	—	18:00 ~19:30 (予約制)	—	14:00 ~15:30 (予約制)	14:00 ~15:30 (予約制)

毎日どこかで実施しています

本市における梅毒検査受検者数・陽性者数の推移

(件)



～平成30年度：
RPR（梅毒脂質抗体検査）陽性の者を
梅毒陽性者として計上

平成31年度～：
RPR・TPいずれかまたは両方陽性の者を
梅毒陽性者として計上

令和6年度 イベント検査

NEW

コロナウイルス感染症の蔓延により令和2年度以降、実施していなかったイベント検査を実施します

- 12月13日（金）13：30～14：30
- 西成区役所にて
- HIV、梅毒（RPR・TP抗体）
- 周知方法

- ・ 多言語（英語・中国語・ベトナム語）のチラシ
- ・ 9monstersアプリ
- ・ 研究班のFacebook
- ・ 市、保健所SNS、ホームページ画面など

通訳付き

NEW



ポスターには、R6年12/13（金）の日程、西成区保健福祉センター特設会場での開催、無料・匿名・即日結果返却などの特徴が紹介されています。また、受付時間（13:30～14:30）と結果返却時間（16:00～17:00）も明記されています。QRコードと大阪市のホームページへのリンクも提供されています。

R6年 12/13（金）

無料

匿名

即日

HIV・梅毒検査

西成区保健福祉センター 特設会場

受付時間 13：30～14：30

結果返却 16：00～17：00

先着 40名

早く分かれればメリットは大きい

結果説明時

通訳言語 英語、中国語、ベトナム語

確認検査が必要になった場合 12月20日大阪市保健所にて結果返却

お問い合わせ 06-6647-0656（9：00～17：30）

検査会場 西成区保健福祉センター（西成区役所内2階）

予約 不要

本市における相談体制

1 HIV・性感染症相談（面接・電話）

- ・常設健康相談として、保健所・各区保健福祉センターの保健師が対応
- ・検査実施区（北・中央・淀川）では、検査結果返却時の面接において、検査や感染経路などの相談に対応し性感染症予防のための保健指導を実施している。



2 外国語専門電話相談

- ・府と協働でNPO法人CHARMに委託している。
- ・HIV／エイズに関する相談の中で、性感染症（梅毒）に関する相談があった場合も対応している。



すべての人が健康に過ごせる社会をめざしてHIV陽性の人、日本語以外の言葉を話す人をサポートし協働する市民団体

〔火曜日〕 英語・スペイン語・ポルトガル語

〔水曜日〕 中国語

〔木曜日〕 英語

午後4時00分～午後8時00分

3. 分析・評価

大阪市感染症発生動向委員会・梅毒部会の開催

- 大阪市感染症発生動向委員会・梅毒部会にて、感染症の専門医や学識経験者などにより、本市の対策を専門的に分析・評価している。

- 第1回：令和元年10月28日開催
- 第2回：令和4年7月6日開催
- 第3回：令和5年10月30日開催

議事

- (1) 梅毒患者数報告
- (2) 本市における梅毒対策について（令和4年度報告）
- (3) トピックス「梅毒の分子疫学解析」

- 第3回の会議では、「順調に対策を進めてくれている」等、委員からの評価をいただいた。評価やご意見をもとに今後も梅毒対策を進めていく。

